

裏面白紙

勅授

丙

九十二
九十三

立案 昭和九年十月九日

決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

東京高科大学教授堀光龜外三名
叙位、件

昭和九年十月廿五日
臺帳記入 十月廿五日官報報告済

宮内省



東京商科大学教授堀光龜外二十一名

叙位，件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和九年十月二十六日

内閣總理大臣岡田啓介



内

閣

裏面白紙

文第五九〇號

案起

昭和九年十月三日

裁可
昭和九年十月六日施行

昭和
年 月 日

内閣總理大臣 

内閣書記官長 

内閣書記官 



東京商科大学教授堀 光龜外
二十一名叙位、件

内閣

文位 五九〇号

在京

敘從三位昭和四年十月五日正四位正四位勲三等堀 光龜

右文武官敘位進階内則第三條依り謹テ奏ス

昭和九年十月二十二日

文部大臣 松田 源治



文
部
省

文部省 五九一号

在案

叙從三位昭和三年十月五日正四位昭和四年十月九日國民精神文化研究所員正位勲三等關屋龍吉

右武官叙位進階内則第三條依り謹テ奏ス

昭和九年十月九日

文部大臣 松田 源 治



文
部
省



裏面白紙

内閣
外位第四号

叙從四位	昭和五年五月一日	三年以上	昭和九年十月廿日	特命全權公使	矢野 眞
正五位			陸叙高等官一等	正五位勳三等	
叙從四位	昭和五年五月一日	三年以上	昭和九年十月廿日	大使館參事官	正 之
正五位			陸叙高等官一等	正五位勳三等	
叙從四位	昭和五年五月一日	三年以上	昭和九年十月廿日	特命全權公使	白鳥 敏 夫
正五位			陸叙高等官一等	正五位勳三等	

右文武官叙位進階内則第三條ニ依リ謹テ奏ス

昭和九年十月廿三日

外務大臣 廣 田 弘



外務省

陸軍第二五六号

在京	叙從四位	昭和四年十月十五日	大正十三年六月二十日	陸軍教授	正五位	勳四等	横山	博
在京	同	同	同	陸軍技師	同	同	田島	互

右文武官叙位進階内則第三條及同三條ニ依リ
謹テ奏ス

昭和九年十月二十日

陸軍大臣 林 銑十郎



陸軍

叙從四位昭和四年十月大嘗
正五位高岡高等商業學校長正五位
勲三等鈴木 弼

右文武官叙位進階内則第三條依り謹テ奏ス

昭和九年十月十九日

文部大臣 松田 源 治



文
部
省

内閣通在第八号

在京
地方

叙從四位

昭和四年十月五日
五年八月十四日
以上
陸海軍等官三等

通言技師正位數四等永野馬太郎

叙從四位

通言技師正位數四等市岡萬次郎

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和九年十月十五日

通言大臣床次竹二郎



通言省

叙從四位

昭和三年四月廿日 經過年數 昭和六年五月廿日 正五位 五年 高等官二等

關東廳警務局長正五位勳等 大場鑑次郎

右文武官叙位進階内則第三條依リ謹テ奏ス

昭和九年 十月十九日

關東長官菱刈 隆



關 東 廳

文 部 省

發祕四八一號

堀光龜紋位ノ件

右上奏書及進達候也

昭和九年十月二十二日

文部大臣松田源治



内閣總理大臣岡田啓介殿

裏面白紙

文 部 省

發祕四六四號

關屋龍吉敘位ノ件

右上奏書及進達候也

昭和九年十月九日

文部大臣松田源治



内閣總理大臣岡田啓介殿

裏面白紙

文 部 省

發祕四六九號

中澤良夫外十名敘位ノ件

右上奏書及進達候也

昭和九年十月十八日

文部大臣松田源治



内閣總理大臣岡田啓介殿

裏面白紙

裏面白紙

別紙添付

(主任者(事決五原)
は(ト)マ)

人機密第六三七號

昭和九年十月二十三日

外務大臣 廣田 弘

内閣總理大臣 岡田 啓介 殿



特命全權公使矢野真外二名敘位ノ件

特命全權公使正五位勳三等矢野真外二名敘位ノ件別紙ノ通上奏致候
間可然御取計相成度此段申進候也

外務省

位第七八五番

叙位ノ件進達

昭和九年十月二十日

陸軍大臣 林 銑十郎

内閣總理大臣 岡田啓介殿



陸軍教授横山博以下二名進位ノ件

右進達ス

村

陸軍

文 部 省

發祕四七八號

鈴木弼敍位ノ件

右上奏書及進達候也

昭和九年十月十九日

文部大臣松田源治



内閣總理大臣岡田啓介殿

裏面白紙

官祕甲第七三一九號

昭和九年十月十五日

逋信大臣床次竹二郎



内閣總理大臣岡田啓介殿

別紙 永野馬太郎 始二名進位
之件上奏書進達又

逋信省

二二二

昭和九年十月二十五日

拓務大臣伯爵兒玉秀雄



内閣總理大臣岡田啓介殿

大場鑑次郎敘位件関東長官上奏書

右及進達候也

拓務省

(進達用紙三號)